ある「オ母サン」サンタさんからの素敵なプレゼント

みなさんは、サンタさんからのプレゼントは届きましたか？

我が家には、雪の中をトナカイのソリに乗ってきたのかゴーグルをかけた可愛いサンタさんからはクッキー、学生サンタさん数人からはクリスマス・カードの写メールも数枚)、また、他にも幾つかのプレゼントが届いた(^_^)/~

何よりのプレゼントは、メル友のある母親サンタさんからの次のようなメール。

ご主人を始め３世代のご家族（８人）が一致団結して、今月初めのお子さん達が通う小学校のＰＴＡ祭りで、喫茶店バザーを出店したとか。

今回の出店は、「地域の方々の理解と支えへの感謝の意として、家族が総動員、また、多くの方々に裏方として協力を仰ぎ、地域の方々や学校のお友達に楽しんで頂く、そんな場所としてお店を開くことでした。

私が思い描いたようなお店が出来上がり、本当に感謝しております。

また、当日は、“日々の感謝の気持ちを手作りでお返ししよう”というものでした」とか。

その折、小腸全摘の助けを求めて東北大学病院に入院中のネパール少女のために、募金箱を置いて当日募金を募り、集まった善意のお金を Dr に連絡して寄付したとの報告メールであった。

このネパールの少女は、現地の医師から死を宣告されていた。唯一の希望はインターネットで見つけた東北大での治療。

しかし、家族には、日本の高額な医療を受けられるほど金銭の余裕はなかった。それでも「日本に行けば助けてくれる」との一念で渡航してきた。

家族に頼られた医師は少女を助けようと、募金の「基金」を設立したことをメル友の母親はネットで知り、「何か出来ないだろうか？」とお子さんたちと話し合い、バザーの折の募金呼びかけを思いついたよう。

このメル友の母親の行動は、ネパールの少女、ご両親にとって何よりのサンタさんだったと思う。

更に、家族ぐるみでのバザー出店や募金等のような前向きな行動ができるように「私が変われたのは、阿部さんとの出会いからです。色々なヒントをありがとうございます。

少しずつ、オ母サンに近づけるよう楽しんでいます。」とあった。

「人と過去は変えられない。自分と未来は変えられる」の言葉のように、ご自身の中にある、人への感謝と優しさの心が、ご自身を変えるエネルギーそのものになっているのだろうと思う。

阿部幸泰　　（2007 年 12 月 28 日　記）